

リンゴ園の訪花昆虫相は山間地で保全され、 市街地ではハチ目が増加している

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－リンゴ－その他

2 担当者名

吉田昂樹、中村傑、高岩和史

3 要旨

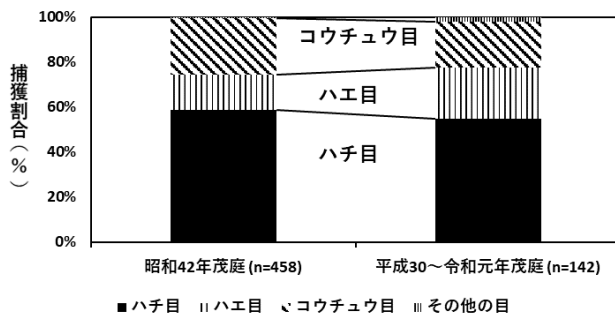
授粉に貢献する訪花昆虫を調べるため昭和42年に福島市瀬上と茂庭のリンゴ園で行われた調査結果と、平成30～令和元年に同地域で行った調査結果を比較したところ、山間地に近い茂庭では訪花昆虫相に変化が見られなかった。一方、市街地に近い瀬上では、ハチ目が多く捕獲され、茂庭の訪花昆虫相と同様の傾向に変化した(図)。

(1) 茂庭では、訪花昆虫相に変化が見られなかった。

(2) 瀬上では、昭和42年に捕獲された訪花昆虫は8割以上がハエ目であったのに対し、平成30～令和元年では約6割がハチ目と、茂庭と同様の傾向に変化した。

(3) 茂庭と瀬上を比較すると、いずれの調査でも茂庭で捕獲個体数が多い傾向が見られた。

茂庭 (山間地)



瀬上 (市街地)

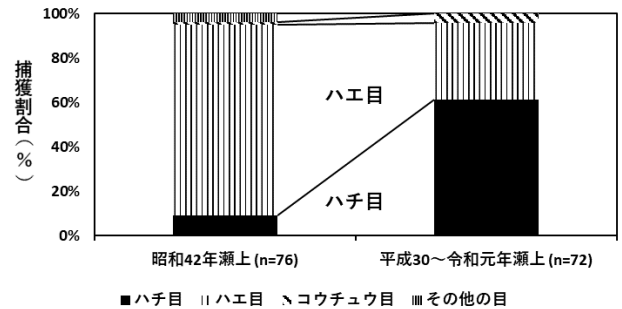


図 昭和42年と平成30～令和元年の環境の異なる地域における訪花昆虫相の比較

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成29年度～令和3年度

(2) 研究課題名 果樹における生物資源を活用した環境調和型病害虫防除技術の開発
〔農林水産省：戦略的プロジェクト研究推進事業〕

5 主な参考文献・資料

(1) 熊倉正昭・引地直至・鈴木政史・柳沼薫, 福島県における果樹園の訪花昆虫相に関する研究 第1報, 1973.